

『茨城大学大学院人文科学研究科 院生論集』 発刊の辞

1991年に発足した茨城大学大学院人文科学研究科は、4半世紀の歳月を積み重ねて来ましたが、2017年4月、研究科名を人文科学研究科と改称して更なる歩みを始めました。

人文科学研究科では修了者の研究成果発表の場として、2009年度に『茨城大学人文科学研究』第1号を発刊し、以来、毎年着実に刊行を続け、号数は8号を数えることとなりました。この間、修了者の論文、研究ノート併せて18本を掲載し、人文科学研究科の研究成果を世に問うとともに、修了生の更なる切磋琢磨による発展の機会を提供して来ました。(現在では、修了者だけでなく、在学生にも門戸を開いています。)また併せて研究科修了者全員の修士論文の要約を掲載することで、研究科での研究内容を広く世に知らせる役割も果たしています。

この度、研究科の名称変更に伴い、誌名を『茨城大学大学院人文科学研究科 院生論集』と改め、ここにその第1号を発刊し、新たな出発をすることとなりました。これまでの『茨城大学人文科学研究』の伝統と蓄積を受け継ぎ、本誌が引き続き人文科学研究科の研究成果および研究活動の発表の場としての役割を果たし、延いては学界および地域、社会に一層貢献することを願うものであります。

『茨城大学大学院人文科学研究科 院生論集』編集委員会